基本操作取扱説明書

SANYO

デジタルムービーカメラ

品番 DMX-CG100

Xacti HD HIGH DEFINITION

準　　備

撮　　影

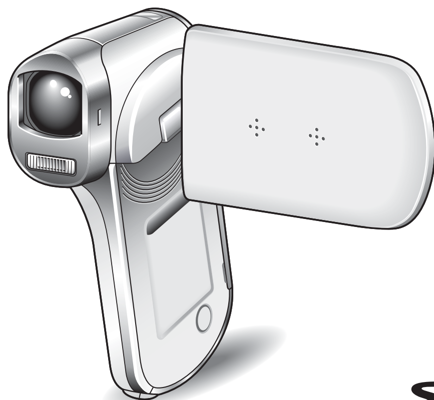
再　　生

テレビに接続する

マニュアルを入手する

Eye-Fi 連動機能について

付　　録





リチウムイオン電池はリサイクルへ

この商品はリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。



HDMI
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

このたびは、本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
別冊の**「安全上のご注意」**も必ずお読みください。また、後々のために本書とともに大切に保管してください。

● 取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の(　)内の記号が色記号です。

本書の読みかた

この説明書では、次の記号でお知らせします。



もう少し詳しい説明や、操作上の注意事項

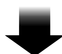


特に注意していただきたい事項

[P　]　参照ページ

初めての方は

本書の「準備」「シンプル」をお読みになり、カメラの操作に慣れてください。



いろいろな機能を使う方は

詳細な機能を説明した取扱説明書は、弊社のホームページで入手することができます [P42] 。



さらに使う方は

弊社のホームページでは、撮影シーンに応じたカメラの設定方法を紹介しております。また、カメラで記録したデータを再生したり DVD に焼き付けるソフトについても紹介しております [P42]。

操作中に疑問に感じたり故障かな？と思った時は、「よくある質問 [P49]」をご参照ください。

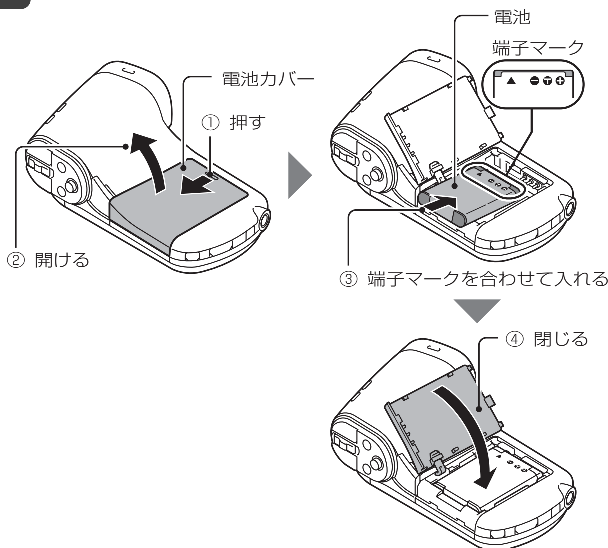
ご愛用者登録について

アクセスメニュー [P46] から、ご愛用者登録およびアンケートのご記入をお願いいたします。
http://e-life-sanyo.com/support/user.html

撮る・見る そして保存する

準備する

1 電池を装着する



撮影したデータの保存について

・SD メモリーカードをお使いになる場合は、12 ページを参照し、カメラにカードを装着してください。
・カメラに SD メモリーカードは付属しておりません。市販品をお買い求めください。
・このカメラは、メモリーを内蔵しており、SD メモリーカードがなくても撮影できます。

撮影する

1 [ON/OFF] ボタンを 1 秒以上押して電源を入れる

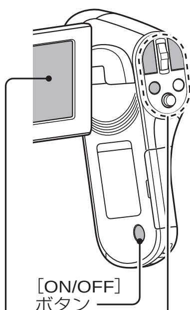
- 日付時刻設定画面が出た場合は、[MENU]ボタンを2回押して消してください。

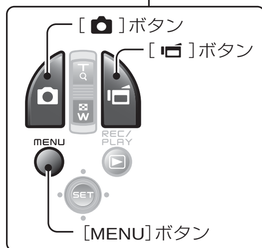
設定方法→P20

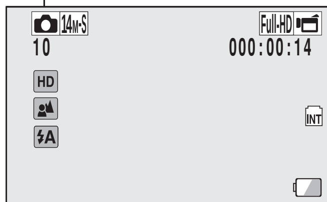
2 撮影する

動画で撮る：
- [動画]ボタンを押すと撮影を開始します。
- もう一度[動画]ボタンを押すと撮影を終了します。

写真を撮る：
- [写真]ボタンを押すと撮影します。
- 1枚の静止画を撮影します。







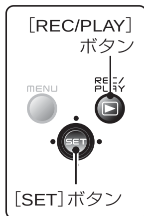
大切な撮影をする前には試し撮りをしてください

● 万一、カメラまたはカードなどの不具合で、撮影や録音ができなかった場合の記録内容やその他の補償につきましてはご容赦ください。

再生する

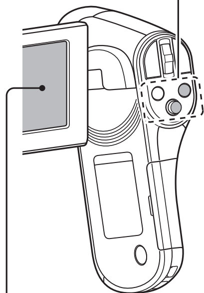
1 [REC/PLAY] ボタンを押す

● 再生画面に切り替わります。



2 再生する画像を選ぶ

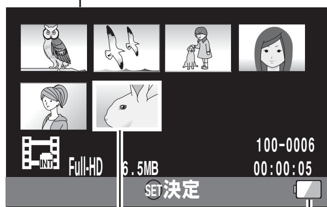
● [SET]ボタンを押して、再生する画像にオレンジ色の枠を合わせてください。
● オレンジ色の枠を合わせた画像の情報が、モニターの下部に出ます。



3 [SET] ボタンを押す

＜撮影状態に戻るには＞

● [REC/PLAY]ボタンを押してください。



再生する(つづき)

ファイルを消去するには

1 操作 **2** の画面で消去するファイルにオレンジ色の枠を合わせ、[MENU]ボタンを押す

2 [消去]を選び、[SET]ボタンを押す

3 [1ファイル消去]を選び、[SET]ボタンを押す

4 [消去]を選び、[SET]ボタンを押す

- 方向ボタンの[◄]/[►]を押すと、他のファイルを消去する画面が出ます。

5 消去が終わったら、[MENU] ボタンを押す

- [MENU]ボタンを3回押すと、操作 **2** の画面に戻ります。



使い終わったら・・

[ON/OFF]ボタンを約1秒以上押して電源を切ってください。

カメラからパソコンにデータをコピーする

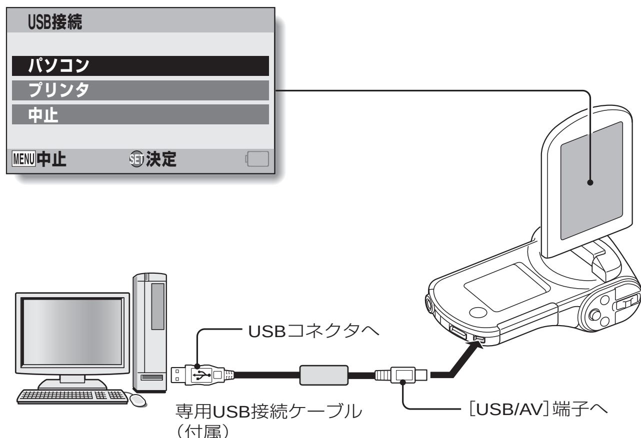
カメラをパソコンに接続し、データをパソコンにコピーしてください。

1 パソコンの電源を入れ、付属の専用 USB 接続ケーブルでカメラをパソコンに接続する

- カメラの[USB/AV]端子とパソコンのUSBコネクタを接続します。

2 カメラの電源を入れる [P17]

- カメラのモニターにUSB接続画面が出ます。



撮る・見る そして保存する(つづき)

3 [パソコン] を選び、[SET] ボタンを押す

- パソコンの接続モードを選ぶ画面が出ます。



4 [カードリーダー] を選び、[SET] ボタンを押す

- タスクトレイに[新しいハードウェアが見つかりました]というメッセージが出て、カメラをドライブとして認識します。
- カードをディスクとして認識(マウント)し、[マイコンピュータ]に[XACTI (E:)]アイコンが出ます。
  ※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

<アクセスメニュー[P46]が出た場合>

- [終了]をクリックし、アクセスメニューを閉じてください。

5 Windowsが実行する動作を選ぶ

- 自動的に[XACTI (E:)]ウィンドウが出た場合は、ウィンドウから目的の操作を選んでください。

6 カメラ内のファイルをパソコンにコピーする

カメラの取りはずし


注意!

- カメラの取りはずしは、必ず以下の操作で行ってください。この操作を行わずに取りはずすと、パソコンが誤動作したり、カメラ内のファイルが破損する場合があります。

1 タスクトレイの [ハードウェアの安全な取り外し] アイコンを左クリックする

- パソコンのUSBコネクタに接続している機器の一覧が出ます。

2 カメラのドライブ(E:)を左クリックする

- カメラを取りはずすことができる状態になります。
  ※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

このカメラには、ソフトは付属していません。ソフトは弊社のホームページから入手してください。

もくじ

■テレビに接続する

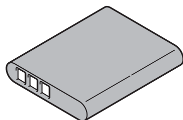
■マニュアルを入手する

■Eye-Fi連動機能について

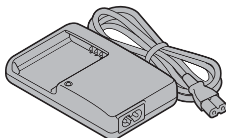
■付録

付属品を確認する

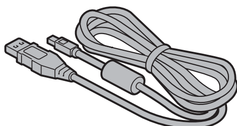
●リチウムイオン電池：1個



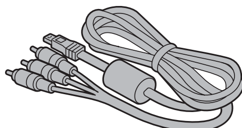
●充電器と電源コード



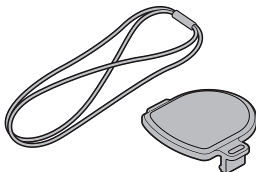
●専用USB接続ケーブル：1本[P45]



●専用AV接続ケーブル：1本[P40]

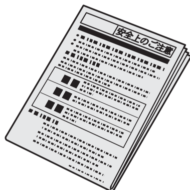


●レンズキャップ：1個[P4]



●基本操作取扱説明書/保証書
- 基本操作取扱説明書の裏表紙は保証書になっておりますので、大切に保管してください。

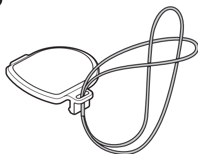
●安全上のご注意（安全注意説明書）
※必ずお読みください。



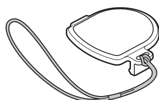
付属品の使いかた

■レンズキャップ

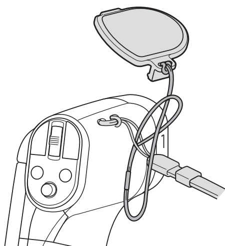
❶



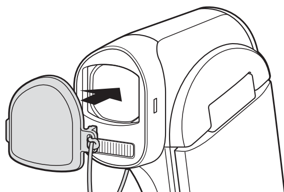
❷



❸

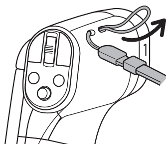


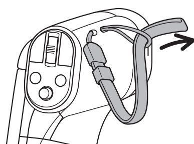
❹

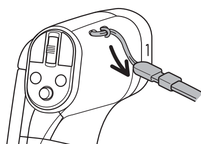


■ハンドストラップ（市販品をお買い求めください）

- 落下防止のため、取り付けをおすすめします。







別売品とカードについて

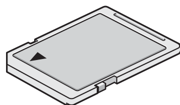
別売品

- **ミニHDMIケーブル（品番：VCP-HDMI02）**
  カメラの[HDMI]端子に接続するケーブルです。
- **リチウムイオン電池（品番：DB-L80）**
  付属品と同じ、リチウムイオン電池です。
- **ACアダプター（品番：VAR-G9）**
  本機に接続できる専用のACアダプターです。
- **ソフトケース（品番：VCP-C01（R））**
  バッグにも取り付けできるソフトケースです（ハンドストラップ付き）。
- **カメラケース（品番：VCP-C02）**
  ジャケットタイプのソフトケースです（ハンドストラップ付属）。
- **カメラケース（品番：VCP-C03）**
  カラビナ付きレザータイプの帆布製ソフトケースです。
- **カメラケース（品番：VCP-CA65SH（W））**
  カラビナ付きのレザータイプの帆布製ソフトケースです。
- **ワイドアタッチメントレンズ（品番：VCP-L07WA）**
  より広角に撮影するためのレンズです。

このカメラで使えるカードについて

このカメラに装着し、使用できるカードは以下のとおりです。

- SDメモリーカード
- SDHCメモリーカード
- SDXCメモリーカード

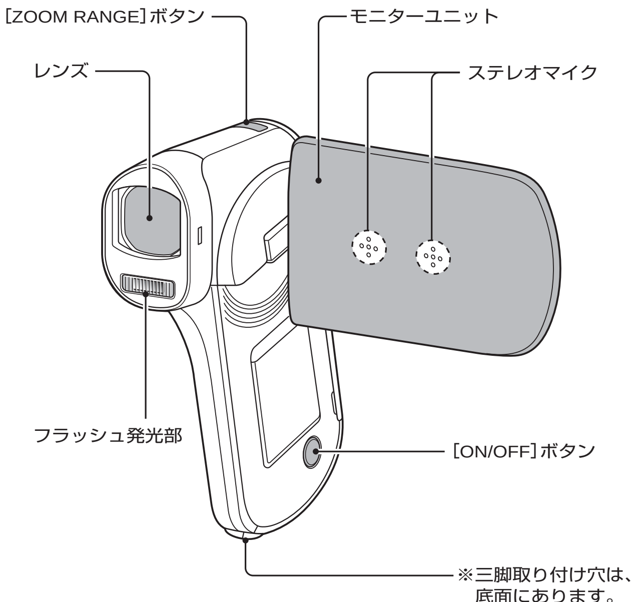


カードの表記について

- 本書では、このカメラで使用できるSDメモリーカードやSDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードを「カード」と表記します。

各部の名前

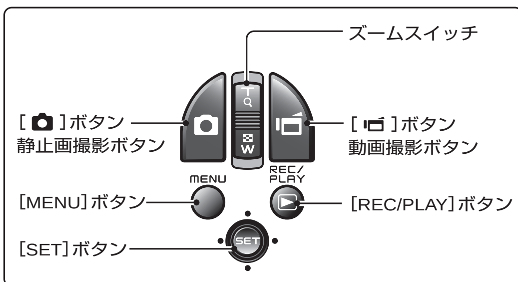
前面


[ZOOM RANGE]ボタン
モニターユニット
レンズ
ステレオマイク
フラッシュ発光部
[ON/OFF]ボタン
※三脚取り付け穴は、
底面にあります。

後面

マルチインジケータ
モニター
操作部
[DC IN]端子カバー
スロットカバー
電池カバー
[ON/OFF]ボタン
[USB/AV]端子
[HDMI]端子

■操作部

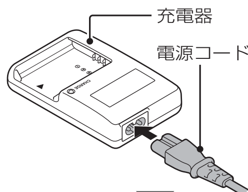


電池を充電する

付属の電池を充電します。

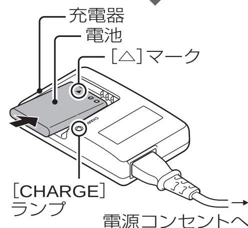
1 付属の電源コードを充電器の電源ソケットに差し込む

- まっすぐ確実に差し込んでください。



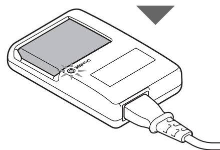
2 電池を充電器の電池取り付け部に装着する

- 電池の[△]マークの方向に取り付けます。

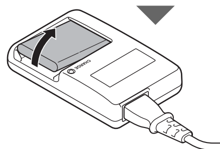


3 電源プラグを電源コンセント(AC100V)に差し込む

- 充電が始まります。
- 充電中、[CHARGE]ランプは点灯します。



4 [CHARGE] ランプが消灯したら、電源プラグを電源コンセントから抜き、電池を充電器から取りはずす




ヒント

- 充電時間は約120分です。

電池の充電について

付属または別売の電池は、ご使用の前に必ず充電してください。
電池の充電には、付属の充電器を使います。
電池を初めて使う場合や、電池残量が少なくなったときは、充電してください。

電池が熱い？

- 充電中、充電器や電池が温かくなることがありますが、異常ではありません。

充電中、テレビやラジオに雑音が入るときは？

- テレビやラジオから離れた場所で充電してください。

充電時の周囲温度について

- 充電時の周囲温度は、約10℃～35℃に保たれていることをおすすめします。約0℃以下では、電池の特性により、十分に充電ができない場合があります。
- 電池が高温になると、保護機能が働いて充電を停止することがあります。

次のような電池も充電してから使用してください

- 長期間使用していない電池
- 新しい電池の使い始め

充電式電池のリサイクルにご協力を



Li-ion 00

ご使用済みの充電式電池は、貴重な資源です。再利用しますので廃棄しないで⊕端子にテープ等をはり付けて絶縁してから充電式電池リサイクル協力店にお渡しください。

電池を充電する（つづき）

[CHARGE] ランプについて

電池と充電器の状態は、[CHARGE] ランプで確認できます。異常は点滅表示でお知らせしますので、下記にしたがって点検・操作してください。

CHARGEランプ	消　灯	**正しく接続できていない** ● 充電するときは、電源コードの電源プラグを電源コンセントに、一方のプラグを充電器の電源ソケットに差し込む[P9]。 ● 電池を装着していない。または電池を正しく装着していない[P9]。 充電終了
	点　灯	充電中
	点　滅	**電池または充電器の異常** ● すぐに電池を取りはずしてください。 ● 異常な電池は使用しないでください。（電池の寿命が尽きたと考えられます。）

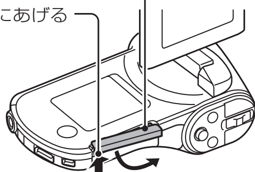

注意!

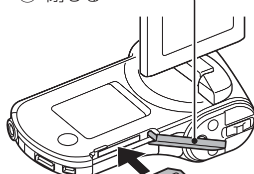
長時間使用した直後に充電しない

● カメラを長時間使用した直後は電池が熱くなっています。この状態で充電しようとすると、保護機能が働いて充電できない場合があります。長時間使用した後は、電池の温度が下がってから充電してください。

カードを装着する

購入直後のカードや他の機器で使っていたカードは、必ずフォーマットしてから使ってください [P13]。フォーマットせずに使うと、カード本来の機能を活かせない場合があります。

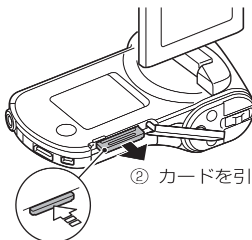






<カードを取りはずす時は…>

- カードを取りはずす時は、カードを押してください。カードを押すと、カードが少し出ますので、そのまま引き抜いてください。



カードを装着する(つづき)



注意!

カードは無理に抜かない

- カードやカード内のファイルを破損するおそれがあります。

マルチインジケータが赤色で点滅している時は・・・

- 絶対にカードを取り出さないでください。カード内のファイルを破損するおそれがあります。



ヒント

カードをフォーマットするには

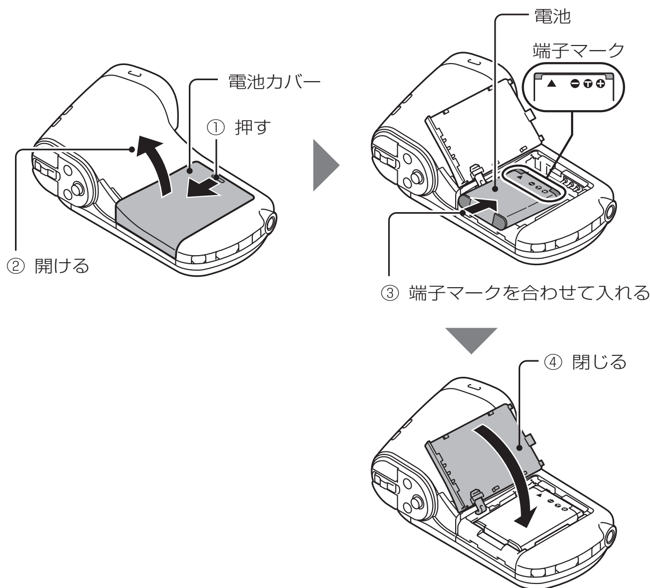
①カメラにカードを装着し、[ON/OFF]ボタンを押す[P12・17]
②ノーマルモードにする[P24]
③[MENU]ボタンを押す
④ タブを選び、[SET]ボタンを押す
⑤[フォーマット] を選び、[SET] ボタンを押す
・フォーマット画面が出ますので、表示に従ってフォーマットしてください。

カードがなくても撮影できます

- カードを装着するとカードで撮影/再生ができ、カードを装着しない場合は内蔵メモリで撮影/再生ができます。また、カードを装着しないで電源を入れると、モニターに内蔵メモリアイコン が出ます。

電池を装着する

付属の電池は、充電してから使ってください。



電池を装着する（つづき）



電池が膨らんだ？

- 本製品に使われているリチウムイオン電池は、高温環境での保存や繰り返しの使用によって電池が膨らむことがあります。安全上の問題はありませんが、膨らんで装着しにくくなった電池は取り出せなくなる恐れがあります。このような電池は使用をやめて、新しい電池をお買い求めください。

電池の外装やラベルをはがして使用しないでください。

- 機器故障の原因となります。



ヒント

内蔵バックアップ用電池について

- このカメラは日付・時刻や撮影の設定など、カメラの設定を保持しておくための電池を内蔵しています。この電池を充電するため、約2日間ほど電池は装着した状態にしてください。内蔵バックアップ用電池は、満充電状態で約7日間、カメラの設定を保持します。

長期間使用しない時は電池を取りはずす

- 電池は、電源が切れている状態でもわずかずつ消耗しますので、カメラを長期間使用しない時は電池を取りはずしておくことをおすすめします。ただし電池をはずすと、日付・時刻や他の設定をしている場合は設定をクリアする場合がありますので、ご使用の前にカメラの設定を確認してください。

電池を長く快適にお使いいただくために

- 電池は消耗品ですが、以下のような事がらに配慮して使うことで、より長い期間ご使用いただくことができます。
  - ・夏場の炎天下など高温環境下に放置しない。
  - ・満充電の状態で繰り返して充電をしない。満充電した後は、ある程度使ってから充電する。
  - ・長期間使用しない場合、できるだけ満充電状態は避け、冷暗所に保管する。

温度警告[icon]アイコンについて

カメラ使用中に電池の温度やカメラ内部(電池以外)の温度が上昇すると、下記のように温度警告 [icon] アイコンがお知らせします。

■ カメラ使用中に電池の温度やカメラ内部(電池以外)の温度が上昇すると

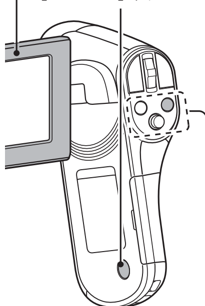
- カメラ使用中に電池やカメラ内部(電池以外)の温度が上昇すると、モニターに [icon] アイコンが点灯します。[icon] アイコンが点灯しても撮影 / 再生はできますが、このような場合はできるだけ早く使用を中止し、電源を切ってください。
- 温度がさらに上昇した場合は、[icon] アイコンが点滅したあと、自動的に電源が切れます。
  温度が下がらないと電源が入りません([icon] アイコンが点滅)。温度が下がるのを待ってから使用を再開してください。
- 動画撮影中には、撮影停止までのカウントダウン表示が約15秒から始まり、表示が0秒になると撮影が停止します。
- 温度が上昇しているとき([icon] アイコンが点灯中)に電源を切ると、温度が下がるまでは、電源が入りません([icon] アイコンが点滅)。

電源を入れる／切る

電源の入れかた

1 モニターユニットを開け、[ON/OFF] ボタンを 1 秒以上押す

- [ON/OFF]ボタンを短く押すと、パワーセーブ状態になります。
- [REC/PLAY]ボタンを約1秒以上押すと、再生モードで電源を入れることができます。





電源の切りかた

1 [ON/OFF] ボタンを約 1 秒以上押す

- 電源が切れます。

パワーセーブ(スリープ)状態から電源を入れる

電源の切り忘れなどによる電池の消耗を防ぐため、電源が入った状態で操作を行わないまま放置(撮影時:約1分間、再生時:約5分間(工場出荷時の設定))すると、自動的に電源が切れる「パワーセーブ(スリープ)機能」が備わっています。

- パワーセーブ状態になった場合は、以下のいずれかの操作をすると電源が入ります。

- **[ON/OFF]ボタンを押す**
- **[📷]ボタンを押す**
- **モニターユニットを開ける**

- パワーセーブ状態になって約1時間以上経過すると、スタンバイモードになります。スタンバイモードになった場合は、[ON/OFF]ボタンを押して電源を入れるか、モニターユニットを一度閉じて開けてください。
- ACアダプター(別売)を接続している場合、電源を入れてから約5分後にパワーセーブ機能が働きます(工場出荷時の設定)。
- カメラにパソコンまたはプリンタを接続している場合は、約12時間後にパワーセーブ状態になります。

電源を入れる／切る（つづき）



すぐにパワーセーブ状態にするには

- [ON/OFF]ボタンを短く押すと、パワーセーブ状態になります。

スタンバイモードについて

- モニターユニットを閉じると、電源をほとんど消費しないスタンバイモードになります。スタンバイモードでは、モニターユニットを開けるとすぐに電源が入って、撮影や再生操作が可能になります。カメラの使用を一時的に中止し、またすぐに使用するような場合は、スタンバイモードをご利用ください。



[⊙?]アイコンが出る？

- このカメラは、撮影時に撮影年月日を撮影画像に記録する機能を持っています。日付･時刻の設定[P20]を行っていないと、撮影画像に撮影年月日を記録できないため電源を入れた直後に「日付時刻を設定してください」というメッセージが、撮影画面には[⊙?]アイコンが出ます。撮影画像に撮影年月日を記録する場合は、撮影の前に日付時刻の設定を行ってください。

<ご注意>

- 製品の性質上、ご使用中は本機表面の温度が多少上昇しますが、故障ではありません。
- ご使用中に熱く感じたら、撮影を一時中断するか、持ち手を替えるなどして、無理な体勢でのご使用は継続しないようにしてください。
  長時間ご使用の際は、三脚などをお使いください。

日付・時刻を設定する

このカメラは撮影/録音時の日付・時刻を記録し、再生時に表示する時計機能を内蔵しています。撮影前には、日付・時刻が正しく設定できているか、確認してください。
※日付・時刻の修正方法は、22 ページの「ヒント」を参照してください。

[例]：2010年12月24日午後7時30分に合わせる場合

1 電源を入れ [P17]、[SET] ボタンを押す



- 日付時刻設定画面が出ます。
- 再生時の撮影日表示、日付表示順序・日付・時刻合わせなどを設定するときは、以降の操作をしてください。
- 撮影または再生画面にするには、[MENU]ボタンを2回押してください。

2 日付を設定する



❶[日付]を選ぶ

❷[SET]ボタンを押す
・日付設定画面が出ます。

❸日付を「2010年12月24日」に合わせる
・「年」設定→「月」設定→「日」設定の順に合わせます。

[SET]ボタンを右または左に押す：「年」、「月」、「日」が選べます。

[SET]ボタンを上または下に押す：数値が増減します。

❹[SET]ボタンを押す

日付・時刻を設定する(つづき)

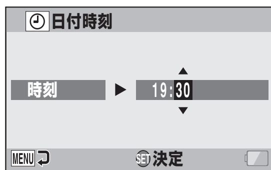
3 時計を設定する

❶[時刻]を選ぶ

❷[SET]ボタンを押す
・時刻設定画面が出ます。

❸時計を「19時30分」に合わせる
・「時」設定→「分」設定の順に合わせます。
・「時」は24時間表示です。

❹[SET]ボタンを押す



4 再生時の日付表示順序を設定する

❶[表示]を選ぶ

❷[SET]ボタンを押す
・日付表示順序を設定する画面が出ます。

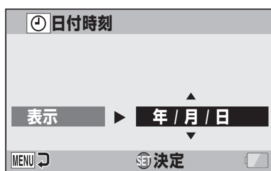
❸[SET]ボタンを上または下に押す

● [SET]ボタンを上に押すと、日付表示順序が以下のように変わります。

→年/月/日→月/日/年→日/月/年→(最初に戻る)

下に押すと、逆に切り替わります。

❹[SET]ボタンを押す



5 [MENU] ボタンを押す

- 日付･時刻の設定が終わりました。
- 撮影または再生画面にするには、[MENU]ボタンを押してください。



ヒント

- このカメラは電池を交換するときに内部時計をバックアップしますが、電池の使用時間によっては、日付･時刻の設定をクリアする場合があります（バックアップ時間は最長で約7日間）。電池交換後や撮影前は念のため、時計表示を確認されることをおすすめします(操作1)。

日付･時刻を修正するには

①電源を入れる
②オプション設定メニュー1を出す[P27]
③[日付時刻]を選び、[SET]ボタンを押す
　･日付時刻設定画面が出ます。
　･この状態で、現在の設定内容が確認できます。
④修正する行を選び、表示を修正する

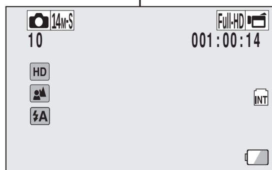
撮影／再生モードを切り替える

撮影をする撮影モードと、撮影した画像を再生する再生モードを切り替えます。

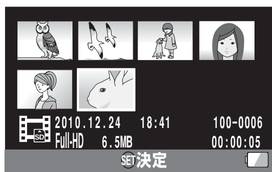
1 電源を入れる [P17]

2 [REC/PLAY] ボタンを押す

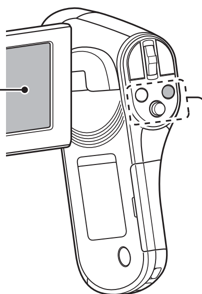
- モードが切り替わります。
- [REC/PLAY]ボタンを押すたびに、モードが切り替わります。



＜撮影モード例＞



＜再生モード例＞





動作モードを切り替える

「シンプルモード」は、このカメラの機能の中でも使用頻度が高く、必要な機能だけで構成した動作モードです。一方「ノーマルモード」は、このカメラの機能をフルに使用する場合の動作モードです。それぞれ、目的に応じたモードを選んで、ご使用ください。

シンプル/ノーマルモードの切り替えかた

1 電源を入れる [P17]

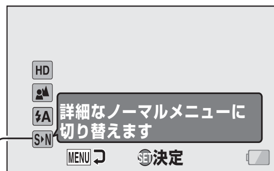
- 前回設定したモードになります。

2 [MENU] ボタンを押す

- モードに応じたメニュー画面が出ます。

3 動作モードアイコンを選び、[SET] ボタンを押す

- シンプルモードからノーマルモードまたは、ノーマルモードからシンプルモードへと切り替わります。
- メニュー画面は、[MENU]ボタンを押すと消えます。



動作モードアイコン

<シンプルモードメニュー画面>



動作モードアイコン

<ノーマルモードメニュー画面>

動作モードを切り替える（つづき）

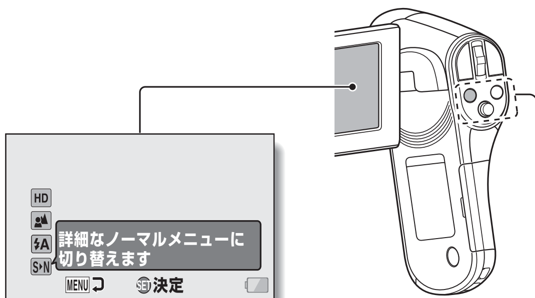
シンプル/ノーマルモードメニュー画面の出しかた/消しかた

1 撮影または再生モードに設定する [P23]

2 動作モードを設定する [P24]

3 メニュー画面を消している場合は、[MENU] ボタンを押す

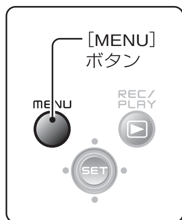
- メニュー画面が出ます。
- メニュー画面は、[MENU]ボタンを押すと消えます。



<例：シンプルモード撮影メニュー>



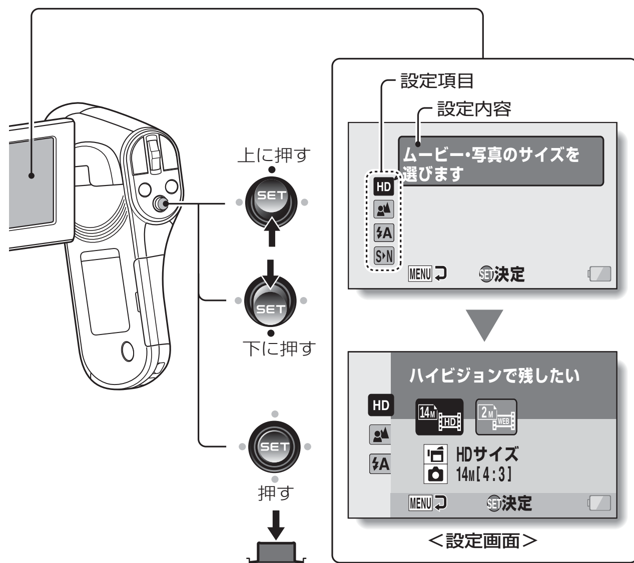
<例：ノーマルモード撮影メニュー>



シンプルモードメニューの操作方法

4 [SET] ボタンを上または下に押して設定したい項目を選び、[SET] ボタンを押す

- 選んだ項目の設定画面が出ます。



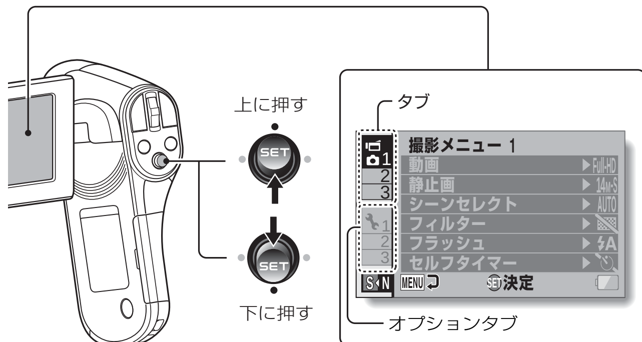
＜設定画面＞

動作モードを切り替える（つづき）

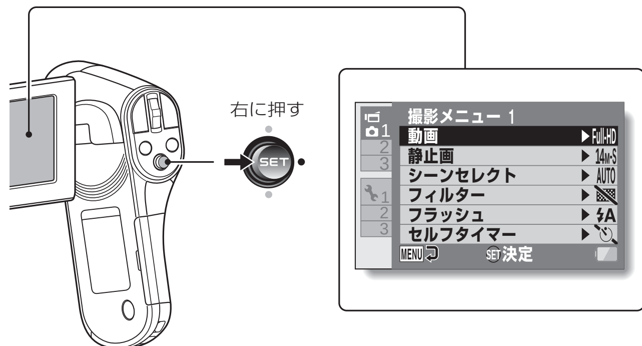
ノーマルモードメニューの操作方法

4 [SET] ボタンを上または下に押してタブを選ぶ

● 選んだタブのメニュー画面が出ます。



5 [SET] ボタンを右に押す



6 [SET] ボタンを上または下に押して設定したい項目を選び、[SET] ボタンを押す

- 選んだ項目の設定画面が出ます。
- [MENU]ボタンを押すと、メニュー画面に戻ります。


ヒント

設定可能モード表示について
- 表示中の設定が反映される撮影モードを示します。
- 静止画アイコン：静止画撮影時に反映されます。
- 動画アイコン：動画クリップ撮影時に反映されます。
- 静止画アイコン 動画アイコン：静止画および動画クリップ撮影時に反映されます。

動画クリップ撮影をする

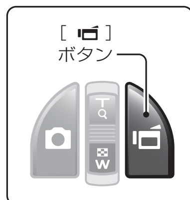
1 電源を入れ [P17]、撮影モードにする [P23]

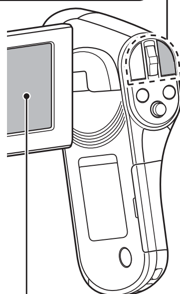
2 [🎥] ボタンを押す

- 録画が始まります。
- [🎥]ボタンを押し続ける必要はありません。
- 撮影可能時間が少なくなると、残りの撮影可能時間が出ます。

3 撮影を終了する

- もう一度[🎥]ボタンを押すと、録画を終了します。







1 枚撮影をする

1 枚の静止画を撮影します（1 枚撮影）。

1 電源を入れ [P17]、撮影モードにする [P23]

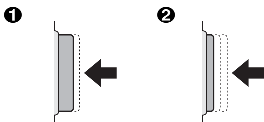
2 [ ] ボタンを押す

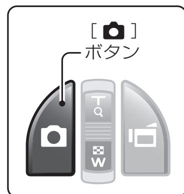
❶ [ ] ボタンを半分押す

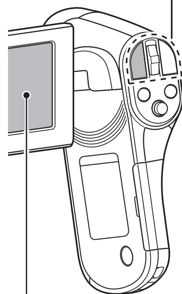
- オートフォーカスが働き、ピントが合います（フォーカスロック）。

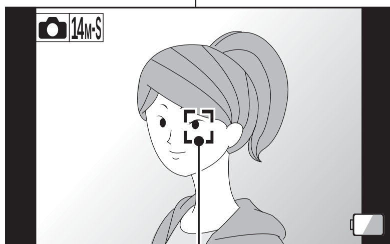
❷ さらに [ ] ボタンを押す

- シャッターが切れます。
- このまま、[ ] ボタンを押したままにしていると、撮影した画像をモニターで確認することができます。











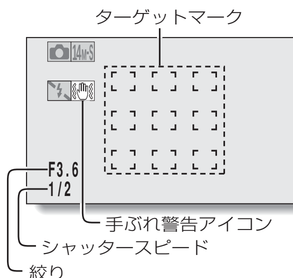
ヒント

モニターの明るさを変えることができます

- 撮影画面が出ている時に[MENU]ボタンを約1秒以上押すと、モニターの明るさを設定する画面が出ます。

どこにピントが合ってるの？

- ピントが合った位置には、ターゲットマーク⌜⌟が出ます。
- ピントを合わせる位置は、撮影範囲の9箇所のフォーカスポイントからカメラが自動的に判断します。ターゲットマークが、目的でない位置に出た場合は、カメラアングルを変更するなどして、ピントを合わせ直してください。
- 画面中央の広い範囲にピントが合った場合は､大きなターゲットマークが出ます。



保存に時間がかかる？

- 暗所撮影時、カードの書き込みに時間がかかる場合があります。

動画クリップ撮影中に静止画撮影をする

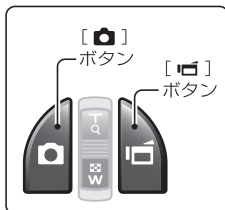
動画クリップ撮影中に、静止画撮影（1枚撮影）ができます。

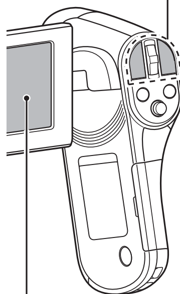
1 電源を入れ [P17]、撮影モードにする [P23]

2 [🎥] ボタンを押す

3 静止画の撮影チャンスになったら、[📷] ボタンを押す

4 [🎥] ボタンを押して、撮影を終了する








ヒント

- 動画クリップ撮影中の静止画撮影の場合、フラッシュは発光しません。
- 撮影可能時間が約50秒以下になると、動画クリップ撮影中の静止画撮影ができなくなります。動画クリップ撮影中に静止画撮影をする場合は、撮影可能時間にご注意ください。

静止画の撮影サイズについて

- 動画クリップ撮影中の静止画撮影サイズは動画クリップの撮影サイズの設定に依存します。

動画クリップ撮影サイズの設定	静止画撮影サイズ
Full-HD Full-SHQ	2M
HD-HR HD-SHQ	0.9M
TV-SHQ	0.3M

※連写撮影はできません。

拡大(ズーム)撮影をする

ズーム機能には光学ズームとデジタルズームがあります。

1 被写体にレンズを向ける

2 ズームスイッチを[T/]または[W/]側に押して、構図を決める

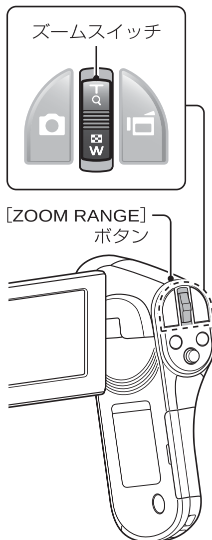
[T/]：望遠画面になります。

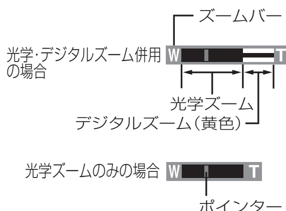
[W/]：広角画面になります。

- ズーム動作に入ると、モニターにズームバーが出ます。
- 光学ズームが最大倍率になると、ズーム動作がいったん止まります。再度ズームスイッチを[T/]側に押すと、デジタルズームに切り替わり、ズーム動作が再開します。

3 撮影する

動画クリップ撮影→[P29]
1枚撮影→[P30]





拡大(ズーム)撮影をする(つづき)



ヒント

高倍率で動画クリップ撮影をする時は

- 高倍率での動画クリップ撮影中に、被写体やカメラを動かしたり手ぶれが発生すると、再生映像が歪む場合があります。この現象はCMOSセンサーの特性によるもので、故障ではありません。
- 高倍率での動画クリップ撮影の時は、カメラが動かないよう三脚で固定することをおすすめします。

「6x Advanced Zoom(アドバンストズーム)」について

- 「6x Advanced Zoom」とは、動画クリップ撮影において画質劣化なく電子的に拡大し、最大約6倍までのズームを可能にする機能です。

[ZOOM RANGE]ボタンを押すと･･･

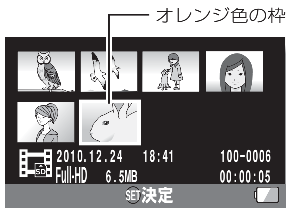
- 拡大サイズが約2倍になります(ダブルレンジズーム)。もう一度押すと、通常の拡大サイズに戻ります。
- 通常の拡大撮影画面には[W]アイコン、ダブルレンジズームの撮影画面には[T]アイコンが出ます。

動画／静止画を再生する

1 再生モードにする [P23]

2 再生する画像を選ぶ

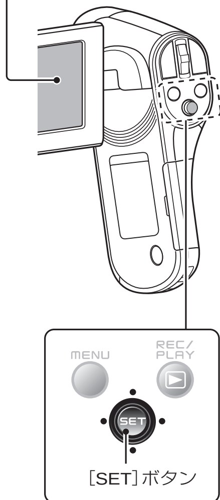
- [SET]ボタンを押して、再生するファイルにオレンジ色の枠を合わせてください。
- オレンジ色の枠を合わせた画像の情報が、モニターの下部に出ます。



3 [SET] ボタンを押す

- 操作 2 で選んだ画像が、モニターいっぱいに出ます。
- 動画クリップの場合は、再生を開始します。

<再生するファイルを選ぶ画面に戻るには>
[SET]ボタンを下に押す



動画 / 静止画を再生する(つづき)

動画クリップの再生操作

こうするには		こうします
順方向再生		[SET]ボタンを押す
再生中止		再生中に[SET]ボタンを下に押す
一時停止		再生中に[SET]ボタンを押す、または[SET]ボタンを上に押す 倍速再生中は[SET]ボタンを上に押す
コマ送り再生	順方向	一時停止中に、[SET]ボタンを右に押す
	逆方向	一時停止中に、[SET]ボタンを左に押す
スロー再生	順方向	一時停止中に、[SET]ボタンを右に押し続ける
	逆方向	一時停止中に、[SET]ボタンを左に押し続ける
倍速再生	順方向	順方向再生中に[SET]ボタンを右に押す ※[SET]ボタンを右に押すたびに、再生速度が以下のように変わります。 通常速度→2倍速→5倍速→10倍速→15倍速 [SET]ボタンを左に押すと、再生速度が元に戻ります。
	逆方向	順方向再生中に[SET]ボタンを左に押す ※[SET]ボタンを左に押すたびに、再生速度が以下のように変わります。 15倍速←10倍速←5倍速 [SET]ボタンを右に押すと、再生速度が元に戻ります。
通常再生に戻す		[SET]ボタンを押す
音量調整		**大きくする**：再生中にズームスイッチを[T]側に押す **小さくする**：再生中にズームスイッチを[W]側に押す

動画クリップ中の1コマを静止画にする

1 動画クリップを再生し、静止画にしたい位置で一時停止する

2 [📷] ボタンを押す

● 静止画の縦横比を選ぶ画面が出ます。縦横比を選んで[📷]ボタンを押してください。ただし、動画クリップの縦横比が4：3の場合、16：9で静止画を保存することはできません。



動画クリップは、ファイルサイズが大きくなります

● 撮影したファイルをパソコンにダウンロードして再生した時、ご使用になるパソコンによっては、画像処理能力が追いつかない場合があります。このため、再生画像がスムーズに動かないなどの現象になります（カメラのモニターやテレビでは、正常に再生できます）。
● 撮影可能時間以内でも、お使いのカードによっては、撮影を終了する場合があります。

動画クリップの再生位置を表示できます

● 動画クリップ再生中に[MENU]ボタンを約1秒以上押すと、現在の再生位置を示すバーが出ます。
● 再生位置を示すバーは、再度[MENU]ボタンを約1秒以上押すと消えます。



動画クリップ再生時に動作音がする？

● 撮影時に光学ズームの動作音やオートフォーカスの動作音を録音したもので、故障ではありません。

音声が出ない？

● コマ送り、スロー再生、倍速再生および逆方向再生時、音声は再生しません。

テレビに接続する

カメラをテレビに接続すると、カメラに装着したカードのファイルをテレビで再生することができます。



ケーブルの抜き差しは、ていねいに

- 接続するときは、プラグの向きとコネクタの形状をよく確認し、まっすぐに接続してください。無理に接続すると、端子を破損するおそれがあります。
- ケーブルを強く引っ張ると、ケーブルやコネクタ部を破損するおそれがあります。

映像出力について：カメラの状態によって、映像の出力先が変わります。

接続ケーブル	映像出力先	撮影モード		再生モード
		待機中	録画中	
専用 AV 接続ケーブル	カメラのモニター	NTSC：× PAL　：○	○	×
	テレビ	NTSC：○ PAL　：×	×	○
HDMI ケーブル	カメラのモニター	×	○	×
	テレビ	○	×	○

○：出力します　×：出力しません

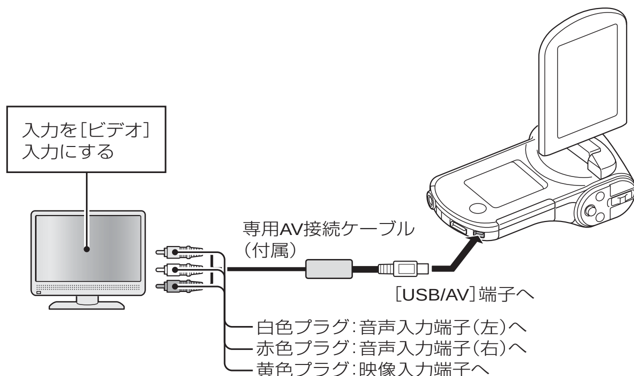

ヒント

- HDMI、HDMIロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

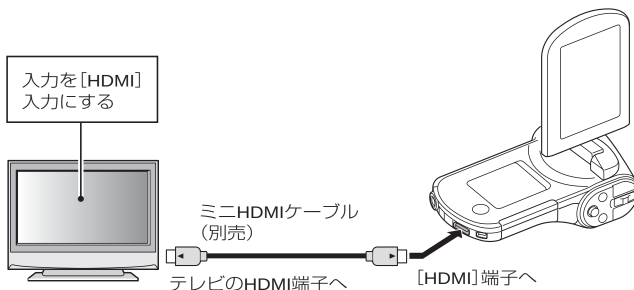
ビデオ入力端子に接続する

付属の専用 AV 接続ケーブルでテレビに接続します。



HDMI端子に接続する

別売のミニ HDMI ケーブルでテレビに接続します。



テレビで再生する

- 接続後、テレビの入力をカメラを接続した端子に切り替えてください。
- 音声を再生する時も、カメラで再生する時と同じ操作で再生できます(音量はテレビで調整)。
- カメラで再生するときと同じ操作で再生できます。



ケーブルの抜き差しは、ていねいに

- 接続するときは、プラグの向きとコネクタの形状をよく確認し、まっすぐに接続してください。無理に接続すると、端子を破損するおそれがあります。
- ケーブルを強く引っ張ると、ケーブルやコネクタ部を破損するおそれがあります。

マニュアルを入手する

カメラの機能を詳細に説明した取扱説明書は、弊社のホームページからダウンロードできます。
※取扱説明書を参照するには Adobe Reader が必要です。Adobe Reader を入手するホームページには、弊社ホームページからアクセスできます。必要に応じて Adobe Reader を入手してください。

取扱説明書の内容

ダウンロードする取扱説明書では、以下の機能について説明しております。
ぜひご入手になり、活用くださいますようお願いいたします。

■シンプル

撮影

撮影の前に
- 上手に撮影するために
- オートフォーカス(自動ピント合わせ)について
- 撮影サイズを選ぶ
- フォーカス設定を選ぶ
- 撮影のヒント

動画クリップ撮影をする

1枚撮影をする
- フラッシュを使って撮影する

動画クリップ撮影中に静止画撮影をする

拡大(ズーム)撮影をする

再生

動画／静止画を再生する
- 動画クリップ中の1コマを静止画にする

スライドショーを再生する

再生音量を設定する

ファイルを消去する
- 1ファイル/全ファイル/フォルダ消去する
- 選択消去する

さまざまな再生方法
- 21画面マルチ再生
- 再生するフォルダを選択する
- 拡大(ズーム)表示をする

■ノーマル

撮影

撮影メニュー1
- 動画設定
- 静止画設定
- シーンセレクト設定
- フィルター設定
- セルフタイマー設定

撮影メニュー2
- 手ぶれ補正設定
- フォーカスレンジ設定
- フォーカス方式設定
- 測光方式設定
- ＩＳＯ感度設定

撮影メニュー3
- ホワイトバランス設定
- 露出設定
- 被写体検出設定
- 高感度モード設定
- デジタルズーム設定
- 露出補正
- 記録フォルダ設定

再生

再生メニュー1
- スライドショー設定
- プロテクト設定
- リサイズ
- 回転

再生メニュー2
- 画像補正
- 動画クリップ編集
- プリント予約

ファイル情報表示

■オプション設定

オプション設定メニューを表示する

オプション設定メニューの紹介
- ショートカット設定
- ＴＶ出力設定
- ファイルＮｏ.メモリ設定
- フォーマット(初期化)

マニュアルを入手する（つづき）

マニュアルの入手

1 カメラからカードを取りはずす

- ホームページにアクセスするためのプログラムは、カメラの内蔵メモリに格納しています。カメラにカードが入っていると、このプログラムにアクセスすることができません。

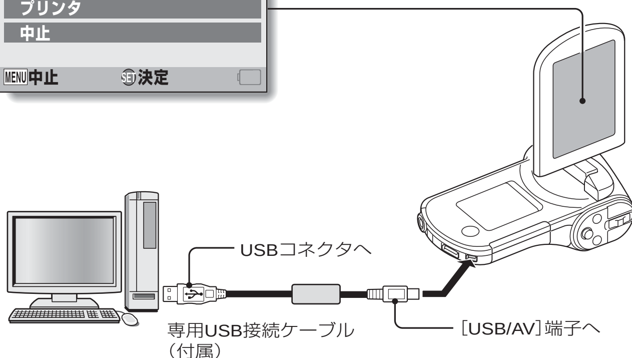
2 パソコンを起動し、付属の専用 USB 接続ケーブルでカメラをパソコンに接続する

- カメラの[USB/AV]端子とパソコンのUSBコネクタを接続します。

3 カメラの電源を入れる [P17]

- カメラのモニターにUSB接続画面が出ます。





4 [パソコン] を選び、[SET] ボタンを押す

●パソコンの接続モードを選ぶ画面が出ます。

5 [カードリーダー] を選び、[SET] ボタンを押す

<Windowsの場合>

●このカメラを紹介するホームページにアクセスするための画面（アクセスメニュー）が出ます。
●アクセスメニューが出ない場合は、AutorunまたはAutorun.exeをダブルクリックしてください。

<Mac OSの場合>

●カメラのドライブにあるHTMLファイル（index.html）をダブルクリックすると、このカメラを紹介するホームページにアクセスするための画面（アクセスメニュー）が出ます。

6 [Xacti CG100 Web サポートページへ] をクリックする

●言語を選択する画面が出ます。目的の言語をクリックすると、このカメラを紹介するホームページが出ます。
●ホームページで目的のマニュアルを選び、ダウンロードしてください。

マニュアルを入手する



ヒント

AutorunまたはAutorun.exe、index.htmlを削除した？

- AutorunまたはAutorun.exe、index.htmlは、内蔵メモリをカメラでフォーマットすると作成できます。

Kodak オンラインサービスについて

- アクセスメニューを閉じると、Kodakオンラインサービスを紹介するホームページに接続するダイアログが出ます。[あとでおすすめ情報を見る]オプションボタンをONにして、[OK]ボタンをクリックしてください。

次回のWebサポートページへのアクセスは

- アクセスメニューを閉じると、デスクトップにWebサポートページにアクセスするためのショートカットアイコンを作成します。次回からは、デスクトップのショートカットアイコンをダブルクリックすると、Webサポートページにアクセスできます。

マニュアルを入手する

Eye-Fi 連動機能について

市販の Eye-Fi カード（無線 LAN 内蔵 SD カード）をカメラに装着すると、撮影した静止画ファイルを無線 LAN 経由で自動的にパソコンなどに転送することができます。また、動画アップロード機能を搭載した Eye-Fi カードを使用すると、動画クリップファイルの転送が可能になります。Eye-Fi カードの設定は、Eye-Fi マネージャーで行ないますが、このカメラでは、さらに以下の設定が可能です。

- Eye-Fi 自動転送の ON/OFF
- 電池残量による Eye-Fi 機能自動停止
- AC アダプター接続制限（カメラにより対応 / 非対応あり）
- SSID の登録 / 消去

Eye-Fi 連動機能の取扱説明書は、弊社のホームページで入手することができます [P45]。

※取扱説明書を参照するには Adobe Reader が必要です。Adobe Reader を入手するホームページには、弊社ホームページからアクセスできます。必要に応じて Adobe Reader を入手してください。

Eye-Fi 連動機能について

よくある質問

よくあるお問い合わせをまとめました。操作に疑問を感じた時などに、ご覧ください。

	質 問	原 因	このようにしてください
電源	電源が入らない?	寒さで電池の性能が一時的に低下した	電池をポケットなどで温めてから使用してください。
	充電しても、すぐに電池がなくなる?	周囲の温度が低すぎる	周囲の温度を10℃～40℃に保ってください。
		電池の寿命が尽きた	十分に充電したにも関わらず、消耗が著しく速い電池は、寿命が尽きたと考えられます。新しい電池をお買い求めください。
	充電が終わらない?	電池の寿命が尽きた	新しい電池に交換する。それでも充電が終わらない時は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	(電池マーク点滅) 表示が出る?	電池残量が少なくなった	ACアダプター(別売)を使用するか、充電済みの電池に交換してください。
撮影	マルチインジケータが赤色に点滅している?	記録ファイルをカードまたは内蔵メモリーに書き込んでいる	故障ではありません。マルチインジケータが消灯するのを待ってください。
	フラッシュが光らない?	被写体が明るくて、カメラがフラッシュ発光の必要がないと判断した	故障ではありません。そのまま撮影してください。
	設定した内容は、電源を切っても記憶している?	—	セルフタイマーと露出補正の設定以外は、電源を切っても記憶しています。

	質　問	原　因	このようにしてください
撮影	画像の使用目的に合った画質とは？	—	16M 12M 14M-H 14M-S 10M 14M：サイズがA4以上の印刷やトリミング（部分拡大）して印刷する場合に適しています。 2M 2M 2M：通常の写真（サービス版）サイズで印刷する場合に適しています。 0.9M 0.3M：ホームページに掲載したり、メールに添付して送信する場合に適しています。
撮影	デジタルズームと光学ズームの使い分けは？	—	光学ズームはレンズの光学特性を利用するため、精細感を損なわずに撮影することができます。一方デジタルズームはイメージセンサーに写った画像の一部を拡大するため、撮影画像が粗くなる場合があります。
撮影	遠景撮影時のピント外れをなくすには？	—	シーンセレクト機能を風景モード に設定して撮影してください。 または、フォーカスレンジをマニュアルフォーカスMFにして、焦点距離を∞に設定してください。

よくある質問(つづき)

	質　問	原　因	このようにしてください
モニター	寒い所で使用すると、画像が尾を引いて見えることがある？	モニターの性質による現象	故障ではありません。輝点などはモニターにのみ現れるもので、記録することはありません。
	赤、青、緑などの輝点が点灯したままになることや、小さな黒点が見えることがある？		
再生画像	画像が明るすぎる？	被写体が明るすぎた	撮影時に、カメラの向きを変えるなどの工夫をしてください。
	ピントが合っていない？	フォーカスロックができていない	カメラを正しく構え、[📷] ボタンを半分押し、ピントを固定してから、さらに [📷] ボタンを静かに押してください。
	画像が出ない(? 表示が出る)？	このカメラ以外のカメラで撮影したカードを使用すると、誤動作することがある	このカメラで撮影したカードを再生してください。
	再生画像が歪む	撮影中に被写体が動いたりカメラを動かすと、画像が歪む場合があります。	故障ではありません。CMOS センサーの特性によるものです。

	質　問	原　因	このようにしてください
再生画像	拡大表示した画像が粗い？	機能上、画像が粗くなる	故障ではありません。
	再生画像が粗い？	デジタルズームを使って撮影した	故障ではありません。
	パソコンで加工した画像や音声をカメラで再生したい？	ー	パソコンで加工したファイルの再生は保証しかねますので、ご了承ください。
	動画再生でモーター音のような音がする	カメラの動作音を録音した	故障ではありません。
テレビでの再生	音声が出ない？	テレビのボリュームが小さくなっている	テレビのボリュームを調整してください。
印刷	PictBridge印刷中にメッセージが出た？	プリンタの異常	プリンタの取扱説明書を参照してください。

よくある質問(つづき)

	質　問	原　因	このようにしてください
その他	[設定の異なる動画ファイルは編集できません]表示が出る	異なる動画モードで撮影した動画クリップをつなぎ合わせようとした	同じ動画モードで撮影した動画クリップを選択してください。
	充電中、テレビやラジオからノイズが出る?	充電器からの電磁波が影響している	テレビやラジオから離れた場所で、充電してください。
	[カード残量が不足しています][内蔵メモリー残量が不足しています]表示が出る?	カードまたは内蔵メモリーに空き容量がない	不要なファイルを消去するか空き容量のあるカードを使用してください。
	「カードロックされています」表示が出る?	カードのロックスイッチが「LOCK」(書き込み禁止)の位置になっている	ロックスイッチをロック解除の位置にしてください。
	カメラの操作ができない?	カメラの回路が一時的に異常になった	AC アダプター(別売)および電池を取りはずしてしばらく放置した後、電池を入れ直してください。
	記録や再生ができないなどの不調が発生する	カードの動作不良	推奨するカードを使ってください。推奨するカードは下記のホームページで確認してください。http://jp.sanyo.com/xacti/
		カードに、このカメラ以外の機器で記録したファイルを格納している	大切なファイルを保存した後、カードをフォーマットしてください。

	質　問	原　因	このようにしてください
その他	海外で使用できる?	—	このカメラは日本国内仕様であり、海外ではアフターサービスも受けられません。ただし、テレビの方式は「PAL」と「NTSC」が切り替え可能です。付属品などについては、下記にご相談ください。 デジタルシステムカンパニー デジカメ お客さま相談係 (072)870-4184 受付時間:月曜日～金曜日 9:00 ～12:00、 13:30 ～17:00 (日曜、祝日および当社の休日を除く)
	[システムエラー]表示が出る?	カメラ内部やカードなどに異常が発生した	下記の項目をそれぞれ確認してください ①カードをカメラから取り出し、再度カードを入れる ②電池を取り出し、再度電池を入れる ③他のカードと交換し、確認する 上記を確認いただいても[システムエラー]表示が出る場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。

仕　様

カメラの仕様

記録画像ファイルフォーマット	**静止画：**JPEG形式 （DCF、DPOF、Exif Ver2.2準拠） （注）DCFは(社)電子情報技術産業協会(JEITA)で主として、DSC等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。ただし、「DCF規格」は、機器間の完全な互換性を保証するものではありません。 **動画クリップ：**ISO標準MPEG-4 AVC/H.264準拠* **音声：**MPEG-4オーディオ(AAC圧縮)48kHzサンプリング、16ビット、ステレオ
記録媒体	内蔵メモリ：約50MB SDメモリーカード SDHCメモリーカード(32GBまで対応) SDXCメモリーカード(64GBまで対応)
撮像素子/カメラ部有効画素数	1/2.33型CMOSセンサー 静止画：約1,430万画素 ムービー(HDモード)：約1,190万画素 ムービー(SDモード)：約1,430万画素
静止画撮影モード（記録画素数）	16M：4,640 × 3,480 ピクセル(約 1,600 万画素) 12M：4,608 × 2,592 ピクセル(約 1,200 万画素・16：9) 14M-H：4,352 × 3,264 ピクセル(約 1,400 万画素・低圧縮) 14M-S：4,352 × 3,264 ピクセル(約 1,400 万画素・標準圧縮) 10M：4,352 × 2,448 ピクセル(約 1,000 万画素・16：9) 2M：1,920×1,080 ピクセル(約200万画素・16:9) 2M：1,600×1,200 ピクセル(約200万画素) 0.9M：1,280×720 ピクセル(約 90 万画素・16：9) 0.3M：640×480 ピクセル(約 30 万画素) 14M：4,352×3,264ピクセル(約1,400万画素・連写) 2M：1,600×1,200 ピクセル(約200万画素・連写)
動画クリップ撮影モード(記録画素数)	Full-HD：1,920×1,080ピクセル、60fields/s(60i) Full-SHQ：1,920×1,080ピクセル、30fps(30p) HD-HR：1,280×720ピクセル、60fps(60p) HD-SHQ：1,280×720ピクセル、30fps(30p) TV-SHQ：640×480ピクセル、30fps(30p) ※このカメラの60fpsは59.94fps、30fpsは29.97fpsです。

*DMX-CA65、DMX-CG65で撮影した動画クリップファイルは本機と同じH.264フォーマットですが、データ圧縮方法などの違いにより互換性がないため、再生しません。

ホワイトバランス	フルオートTTL、マニュアル設定可能
レンズ	焦点距離： f ＝6.8～34.0mm　光学5倍ズーム 開放：F=3.5（wide）～3.7（tele） 8群11枚（非球面3枚6面） ガルバノメータ方式絞り機構 NDフィルター搭載 35mmフィルムカメラ換算 静止画撮影時：38～190mm（光学ズーム 5倍） 動画クリップ撮影時： 　ダブルレンジズームWモード時： 　　f=40～240mm（アドバンストズーム 6倍） 　ダブルレンジズームTモード時： 　　f=80～480mm（アドバンストズーム 6倍）
露出制御方式	プログラムAE/シャッタースピード優先AE/絞り優先AE/マニュアル露出制御 露出補正機能あり（0±1.8EV　0.3EVステップ）
測光方式	多分割測光、中央重点測光、スポット測光
撮影範囲	ノーマルモード　　　　：50cm～∞ スーパーマクロモード　：1cm～72.5cm（wide端のみ）
デジタルズーム	撮影時：1～約10倍 再生時：1～約72.5倍（解像度により異なる）
シャッタースピード	静止画撮影モード：1/2～1/1,500秒 （最長約1秒：シーンセレクト機能ランプ時） （フラッシュ発光時：1/30～1/1,500秒） 連写撮影モード：1/30～1/1,500秒（フラッシュ非発光） 動画クリップ撮影モード：1/30～1/10,000秒 （最長1/15秒：シーンセレクト機能ランプまたは高感度モード時）
感度	静止画（標準出力感度*）/動画クリップ撮影モード： 　オート（動画クリップ撮影時：ISO50～800、静止画撮影時：ISO50～400）/ISO50、100、200、400、800、1,600（撮影メニューによる切り替え） 　※感度はISO（ISO12232：2006）準拠の測定方法による。 　※シーンセレクト設定時、ISO感度1,600相当まで増感

最低被写体照度	17ルクス（AUTO時、1/30秒） 5ルクス（高感度モードまたはランプモード時、1/15秒）	
手ぶれ補正	動画　：電子式 静止画：加算式	
モニター	2.7型低温ポリシリコンTFTカラーワイド液晶（透過型）約23万画素	
フラッシュ撮影範囲	GN=4.0 { 約50cm～2.3m（wide） 約80cm～2.2m（tele）	
フラッシュモード	自動発光、強制発光、発光禁止	
フォーカス	TTL方式AF（静止画撮影モード：9点測距/スポット、動画クリップ撮影モード：コンティニュアス）・マニュアルフォーカス	
セルフタイマー	作動時間：約2秒/10秒	
使用環境	温度	0～40℃（動作時） －20～60℃（保管時）
	湿度	30～90%（動作時、結露しないこと） 10～90%（保管時、結露しないこと）
電源	電池	リチウムイオン電池（DB-L80）×1個
	ACアダプター（別売）	VAR-G9
消費電力		3.5W（リチウムイオン電池使用・記録時）
大きさ（突起部含まず）		85.7（幅）×37.4（奥行き）×110.3（高さ）mm（最大寸法） 体積：約176cc
質量		約158g（本体のみ（電池・カード別）） 約176g（電池・カード込み）

カメラ各端子の仕様

[USB/AV]（通信/音声・映像出力）端子	専用ジャック	
	音声出力	ステレオ
	映像出力	コンポジットビデオ、日米標準NTSCカラーTV方式/PALカラーTV方式（オプション設定メニューによる切り替え）
	USB	USB 2.0 High-Speed PCカメラ：USBビデオクラス
[HDMI]端子	映像出力 総走査線数（有効走査線数）：750p（720p）/ 1125i（1080i）/ 525p（480p） 音声出力：L-PCM　48kHzサンプリング	

電池寿命

撮影時	静止画撮影モード	約190枚：CIPA規格によります（SanDisk製2GB SDメモリーカード使用時）
	動画クリップ撮影モード	約60分：Full-HD で撮影した場合
再生時		約210分：モニターを点灯し、連続して再生した場合

- 十分に充電した付属の電池を使い、常温（25℃）で当社測定条件のもと、電池が切れるまでのおおよその値です。
- 電池の状態や測定条件により、使用可能時間が変わります。特に10℃以下の低温状態で使用した時は、電池の特性により使用可能時間が極端に短くなります。

仕　様(つづき)

撮影可能枚数/時間、録音可能時間

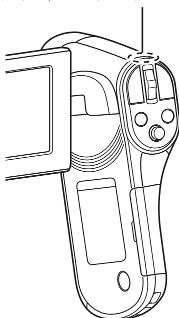
撮影/録音モード設定	画質設定	内蔵メモリー使用時	SDメモリーカードの種類	
			8GB使用時	16GB使用時
静止画撮影モード	16M	7枚	1,200枚	2,410枚
	12M	9枚	1,480枚	2,970枚
	14M-H	7枚	1,130枚	2,280枚
	14M-S	10枚	1,690枚	3,390枚
	10M	14枚	2,240枚	4,490枚
	2M	69枚	10,800枚	21,700枚
	2M	74枚	11,300枚	22,700枚
	0.9M	138枚	20,700枚	41,600枚
	0.3M	318枚	49,800枚	99,800枚
	14M (連写)	10枚	1,690枚	3,390枚
	2M (連写)	74枚	11,300枚	22,700枚
動画クリップ撮影モード	Full-HD	21秒	1時間1分	2時間4分
	Full-SHQ	28秒	1時間21分	2時間43分
	HD-HR	28秒	1時間21分	2時間43分
	HD-SHQ	37秒	1時間46分	3時間33分
	TV-SHQ	1分31秒	4時間19分	8時間39分
音声記録モード	[マイク]	26分	67時間	134時間

- 音声の連続記録時間が約13時間を超えると、いったんファイルを保存して、続きを新しいファイルに保存します。動画クリップ撮影モードでは、記録中のファイルサイズが4GBを超えると、いったんファイルを保存し、続きを新しいファイルに保存します（4GBごとのファイルを自動作成します。停止状態にするまで記録状態を継続しますが、ファイルを保存している間は、音声の記録を停止します)。
- 上記はSanDisk製SDメモリーカードを使用した値です。
- 同じ容量のカードでも、メーカーや種類、撮影条件が違うと撮影枚数など数値が異なることがあります。
- 連続撮影(録音)時間は、カードの種類・容量・性能などによって、異なります。

マルチインジケータについて

カメラのマルチインジケータは、さまざまな動作状態によって点灯、点滅、消灯します。

点灯/点滅状態			カメラの状態
緑色	点灯		パソコン/プリンタ接続時
	点滅		パワーセーブ状態
オレンジ色	点灯		テレビ接続時
赤色	点滅	遅い	カメラ内部温度上昇
		速い	セルフタイマー撮影中
		さらに速い	カードアクセス中



仕　様（つづき）

付属の充電器の仕様

品番		VAR-L80
電源		AC100-240V・50/60Hz、5W
定格出力		DC4.2V、550mA
適合電池		付属または別売のリチウムイオン電池（DB-L80）
使用環境	温度	0～40℃（充電時）、－20～60℃（保管時）
	湿度	20～80%（結露しないこと）
大きさ		84.0（幅）×50.5（奥行き）×22.5（高さ）mm
質量		約49g（電源コードを含まず）

● 付属の充電器を海外でお使いになる場合は、電源コードをご使用になる地域や国にあったものに取り替える必要があります。詳しくは、お買い上げ販売店または、もよりの「お客さまご相談窓口[P64]」にお問い合わせください。

付属のリチウムイオン電池の仕様

品番		DB-L80
電圧		3.7V
容量		700mAh
使用環境	温度	0～40℃（機器使用時） －10～30℃（保管時）
	湿度	10～90%（結露しないこと）
大きさ		39.2（幅）×5.9（奥行き）×31.4（高さ）mm
質量		約15g

その他

電波障害自主規制について

- この製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。
- 取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本機の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCIルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

ご注意

- この説明書の内容の一部、または全部を無断転載することは固くお断りします。
- この説明書に掲載している写真やイラストは、説明のため実物と多少異なりますが、ご了承ください。また内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本製品は日本国外では販売せず、保証書は日本国内でのみ有効です。
- 付属品は、日本仕様です。

大切な撮影をする前には試し撮りをしてください

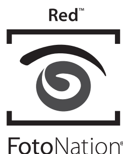
- 本製品がお客さまにより不適当に使用されたり、この説明書の内容に従わずに取り扱われたり、または当社および当社指定外の第三者により、修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 当社純正品および、当社品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、修理その他の理由により生じたファイルの消失による、損害および逸失利益等に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 運用した結果の影響については、上項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品で撮影した画像の質は、フィルム式カメラの写真の質とは異なります。

Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
IntelおよびPentiumは、米国インテル社の登録商標です。

本文中では、Microsoft® Windows® 2000 operating system日本語版、Microsoft® Windows® XP operating system日本語版、Microsoft® Windows® Vista operating system日本語版、Microsoft® Windows® 7 operating system日本語版を単にWindowsと表記しています。

ソフトウェア Red Eye by FotoNation™ 2003-2005 は、FotoNation®社の商標です。

Red Eye software© 2003-2005 FotoNation In Camera Red Eyeは、米国特許(No. 6,407,777)および申請中特許を使用しています。



SDXCロゴは商標です。



HDMI、HDMIロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。



Eye-Fiは、アイファイジャパン株式会社の登録商標です。
その他の社名、および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ…

家電商品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。

転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電商品についての全般的なご相談　三洋電機株式会社 お客さまセンター

受付時間：(365日) 9：00〜18：30

総合相談窓口　☎ **050−3116−3434**

※上記番号をご利用できない場合は ☎ **大阪(06)−6994−9570** へおかけください。

※郵便またはFAXでご相談される場合

三洋電機株式会社 お客さまセンター

〒570-8677　大阪府守口市京阪本通2ー5ー5
FAX：大阪(06)6994ー9510

家電商品の修理サービスについてのご相談　三洋電機サービス株式会社

受付時間：月曜日 〜 金曜日　9：00〜18：30
(7〜8月)　8：45〜19：30
土曜・日曜・祝日・当社休日　9：00〜17：30

修理相談窓口

◆ 東京コールセンター
(050-がご利用できない場合は、東京03-5302-3401へおかけください)

北海道地区	☎ 050−3116−2333
東北地区	☎ 050−3116−2444
関東・甲信越地区	☎ 050−3116−2222

お客さまご相談窓口（つづき）

◆ 大阪コールセンター
(050-がご利用できない場合は、大阪06-4250-8400へおかけください)

近畿地区	☎ 050－3116－2555	
中部・北陸地区	北陸	☎ 050－3116－2555
	中部	☎ 050－3116－2666 沼津地区は、 ☎ 050－3116－2222
中国・四国地区	中国	☎ 050－3116－2777
	四国	☎ 050－3116－2555
九州地区	☎ 050－3116－2888	

沖縄地区	☎ 098－944－5018

（※）沖縄地区の受付時間：月曜日～土曜日　9:00～17:30
（日曜、祝日および当社休日を除く）

持込み修理および部品についてのご相談　三洋電機サービス株式会社

受付時間：月曜日～土曜日 9:00～17:30(日曜、祝日、当社休日を除く)
※一部、土曜日も休日のサービス拠点があります。

家電商品の持込み修理および部品のご注文については、各地区のサービス拠点で承っております。
最寄の拠点は弊社ホームページhttp://jp.sanyo.comもしくは上記コールセンターでご確認ください。

☆上記のご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。
また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き第三者への開示は行いません。なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

＜利用目的＞

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合せおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

＜業務委託の場合＞

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は
ホームページ http://jp.sanyo.comをご覧ください。

110610U

アフターサービスについて

■この商品には保証書がついています。
保証書の所定事項の記入および記載内容を確認いただき、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日から1年間です

- 保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。その他の詳細は70ページ「無料修理規定」をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により、有料修理いたします。
- 当社は、このカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、8年保有しています。
- なお保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ販売店へお申し出ください。転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、もよりの「お客さまご相談窓口[P64]」にお問い合わせください。

修理を依頼される時は…

下記の事項をお買い上げ販売店に、ご連絡ください。

1. 故障の状況(できるだけくわしく)
2. 品番(DMX-CG100)
3. お買い上げ年月日(保証書に記入)
4. おなまえ、おところ、電話番号

総合相談窓口　受付時間：(365日) 9：00〜18：30

修理のご依頼やご相談は、まずはお買い上げ販売店へお申し出ください。
家電商品についての全般的なご相談は下記にお問い合わせください。

☎ 050−3116−3434

※上記番号をご利用できない場合は **☎ 大阪(06)−6994−9570** におかけください。

※郵便またはFAXでご相談される場合

三洋電機株式会社 お客さまセンター

〒570-8677　大阪府守口市京阪本通2−5−5
FAX：大阪(06)−6994−9510

修理や部品に関するご相談は、お買い上げ販売店、または三洋電機サービス株式会社の「修理相談窓口 [P64]」にお問い合わせください。

この商品に関するご相談は下記にお問い合わせください。

受付時間：月曜日〜金曜日（祝日および当社の休日を除く）

9:00〜12:00、13:30〜17:00

デジタルシステムカンパニー　デジカメお客さま相談係

電話　大東（072）−870−4184（直通）

アフターサービスについて(つづき)

お客さまメモ

お買い上げの際にご記入ください。お問い合わせなどの時に便利です。

品　番	DMX-CG100
お買い上げ年月日	年　月　日
お買い上げ販売店	電話(　　)　―
もよりのお客さまご相談窓口	電話(　　)　―

以下の項目をご確認のうえ、お問い合わせください。

お客さまチェックシート		
カードの種類	容量：	
	メーカー名：	
	お買い上げ年月日：　年　月　日	
パソコンのOS	□Windows 2000 □Windows XP □Windows Vista □Windows 7	□Mac OS X バージョン：

無料修理規定

保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載に基づき、お買い上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と保証書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。
保証書の★印欄に記載のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。
●品番は色記号を省略しています。

1．保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
　イ．使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または破損。
　ロ．お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送などによる故障または破損。
　ハ．火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧、その他の外部要因による故障または損傷。
　ニ．業務用としての使用、車両、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
　ホ．保証書の提示がないとき。
　ヘ．保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
　ト．消耗部品(例えば電池など)の交換。
2．保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理を行った場合の出張料はお客様の負担となります。
3．ご転居の場合は、事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
4．ご贈答品などで保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合には、三洋電機お客さまご相談窓口（64ページ)をご覧のうえ、もよりの窓口にお問い合せください。
5．保証書は日本国内においてのみ有効です。
Effective only in Japan.
6．保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

アフターサービスについて(つづき)

●保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または三洋電機お客さまご相談窓口(64ページ)にお問い合わせください。

●保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは67ページをご覧ください。

●修理メモ

MEMO

MEMO

MEMO

http://jp.sanyo.com/xacti/

三洋電機株式会社

デジタルシステムカンパニー

〒574-8534 大阪府大東市三洋町1-1

1AG6P1P5621--
SG413/J(0210HS-SD)